

小学部 音楽科 1段階 A表現

単元名:「あきをさがそう」

Cさんの本時の評価規準（音楽科1段階）

- ② 音楽を形づくっている音の特徴や音の出し方による変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとしている。
（思考力・判断力・表現力等）
- ③ 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に音楽作りの学習活動に取り組もうとしている。
（学びに向かう力・人間性等）

資質・能力を育むための指導のアイデア

【指導と評価の一体化】

教材

- ・音の違いに気付くことができるように、少ない多い、色々な音を作って提示する。

指導

- ・一つずつ丁寧にできたものの音を確認し、後の工夫につなげられるようにする。
- ・擬音語のカードを準備し「どんなおと？」と発問し、考えやすくする。

言葉

- ・まずは、それぞれの机で音を見つけて、みんなで発表を聴き合いました。また作るなど、個人→集団のやり方もある。

単元構成

- ・秋の音とは何か。公園に行く途中に子どもたちが踏んだ落ち葉の音を録音して、言葉で表現するなど、身近な音に気付くことができるようにする。



＜単元研究会のあと・・・＞

今回の授業を通して、人数が多いからこそ、目標が達成された姿を自分の中で具体的にイメージして授業に臨むことの必要性を痛感しました。5人の学級、それぞれに響き合う子供達と一緒に授業を行い、「うまく授業を回すことができたか」等に気持ちが向いてしまうことが多かったが、そうではなく、個人が目標を達成できたか、指導要領が示す「内容」をしっかりと評価して指導と評価を図っていくこと、つまり授業者である自分と向き合うことが重要であることを実感しました。

